

TOPICS

第2回香川大学・チェンマイ大学・国立嘉義大学合同シンポジウム 「Second Trilateral Symposium on SDGs- New Strategic Approaches Towards SDGs Beyond the COVID-19 Pandemic」を開催 8/29~31



タイ・チェンマイ大学から54名、台湾・国立嘉義大学から39名、スリランカ・ルフナ大学から本学卒業生1名が来学し、本学及び本学関係者115名の参加者を合わせて209名が対面で参加しました。また、オンラインでは25名が参加しました。初日は、国立嘉義大学 Show-Jen Chiou 教授と、チェンマイ大学医学部長 Bannakij Lojanapiwat 教授の基調講演、ジョイント・リサーチ・セッション、ポスターセッションを行いました。2日目は、セッショングループ毎にプレゼンテーションを行った後、グループ

毎に小豆島、直島、東かがわ市、宇多津町、県内企業などを訪問し、参加者に香川県の地域の取り組みを知っていただきました。3日目は、農学部多田邦尚教授（瀬戸内圏研究センター長）の基調講演の後、ポスター表彰式を開催し、大盛況のうちに閉会しました。待望の対面で行われた今回のシンポジウムは、研究成果発表や意見交換など、各大学と学生にとって大変貴重な経験となりました。



地域マネジメント研究科20期生主催 シンポジウム「かがわ観光のサステナブルな未来～地域資源・アートを活用による島々の誘い～」を開催 8/31



香川県の主要観光資源である「瀬戸内国立公園」「小豆島の持続可能な取組み」「アート」という持続可能な観光をテーマに、ゲストと学生が共にその魅力の活かし方や課題と解決方法を探りました。シンポジウムの第一部では、香川県の3つの施策「島々をつなげる観光施策」「地域おこし協力隊インターンの活用」「島内の移動手段の強化・拡充」について地域マネジメント研究科の20期生 阿河達也さんが提言を行

いました。また、各方面に精通するゲストの方々より、講演をいただきました。第二部では、パネルディスカッションを実施。提言内容について、多面的な視点からの意見を頂きました。また、令和7年は大阪・関西万博と瀬戸内国際芸術祭が同時開催される稀有な年であり、ゲストの方に意気込みを語っていただけて締め括りました。当日は小豆島の特産品をDRI 棟入口で販売を行い好評でした。



四国4国立大学×JR四国の連携事業 「地域観光チャレンジ2023」成果発表及び 最終審査会を開催 9/5



地域に人を呼ぶ旅行プランを企画する取り組みで、参加するのは各大学の学生チームです。学内審査を通過した8つのチームが各県の観光資源を活かした旅行プランを本学オ

リーブスクエア多目的ホールで発表して審査が行われました。銅賞には本学のチーム本島の「本島っ子になってみまい」が選ばれました。なお今回企画されたプランはブラッシュアップして、来年3月以降に旅行商品としてJR四国から販売される予定です。



カダイジン出演者募集中 (香川大学生・教員・職員・卒業生 対象)

香川大学のまだ知られていない凄い人を取り上げる企画で、「立候補」と「推薦」で募集しております。是非ご応募ください！
学内の方はこちらから応募できます (選考あり)
<https://forms.office.com/r/Cmd3jyTnzW>
↓学外の方はこちらのメールから応募できます (選考あり)
kouhougakuseistaff-h@kagawa-u.ac.jp
(メール記載事項) 今までのカダイジンの紹介はこちら
・連絡先
・氏名
・アピールポイント (写真や動画などを含む)



あなたのご意見をお聞かせください！

「KADAIGEST」では、本誌に関するアンケートを行っています。ご回答いただいた方の中から抽選で2名様に香川大学オリジナルバッグをプレゼントします。香川大学に関する話題や発信してほしいこと、ご意見など何でもお寄せください。
こちらのQRコードからアンケートにアクセスできます ※令和5年11月30日締切



KADAIGEST 9 2023



① 毎週土曜日に、課外活動棟で部会を行っています。 ② 商店街のギャラリーを借りて、「新人展」など展示会を行っています。 ③ 栗林公園で行われた新入部員との懇親会の様子！ ④ 会報は毎年作られ、歴代の先輩方を知ることができます。 ⑤ 5月頃には、自己紹介を兼ねた会報を製作します。 ⑥ 新人展に向けて、看板などを共同で準備します。

香川大学 美術部

こんにちは、美術部です！私たちは毎週土曜日に、幸町キャンパスにある課外活動共用施設で活動しています。決まった活動時間はありますが、基本的に自由参加ですので、自分のライフスタイルに合わせて活動できます。制作する作品のジャンルはさまざま、アナログからデジタルまで、部員ひとりひとり個性豊かな作品を作っています。また美術部では、1年を通して自分たちの作品を世に出す機会がたくさんあります。7月にはギャラリーを借りて新人展を開催し、大学祭では作品展に加えてプラ板キー

ホルダー作成などのワークショップを行います。さらに、毎年中国の大学共同で行われる「音美(おんび)」(中・四国国立大学連合音楽会及び美術展覧会)に作品を出品しています。美術部最大の魅力は、自分が好きなこと、表現したいことを存分に生かせることです！好きなことや創った作品を否定する人は一人もいません。互いの趣味を認め、互いの作品をほめ合い、互いを伸ばすことができる場になっています。興味を持った方はぜひ、部室に足を運んでください！

活動場所 / 香川大学幸町キャンパス 課外活動共用施設3階
活動時間 / 毎週土曜日
部員数 / 26名
HP・SNS / X(Twitter): @kadaibijyutsubu
連絡方法(連絡先) / X(Twitter)のDMまで



創造工学部3年 難波 拓泉 岡山県立倉敷天城高等学校

VOICE

香川大学サイバー防犯ボランティア SETOKU

活動場所 / 情報メディアセンター1F
 活動時間 / 浄化活動:毎週月曜日3限or4限or5限(90分)
 教育活動 / 夏休み・冬休み
 部員数 / 22名(創造工:11名 法:9名 教育:2名)
 X(Twitter) / @KU_SETOKU
 連絡はX(Twitter)のDMへ



「広報啓発活動」サイバー防犯かるたのお披露目

サイバー防犯かるたが好評

不定期イベントとして広報啓発活動も行っています。SETOKUでは香川県警とトレンドマイクロとコラボして「サイバー防犯かるた」を制作しました。かるたを通して自分の情報リテラシーを見直してもらうことを目的としています。今年の12月17日には「CTF」とよばれる情報セキュリティの技術や知識を使い、Flag(答え)を見つけて合計点数を競うイベントが開催されます!自身の情報技術を試してみませんか?

SETOKUには創造工学部以外の学生も多

く参加しています。SETOKUは四国のIT企業や香川県警、教育委員会と連携しています。連携機関と直接つながることができるので、SETOKUに入ること就職活動を有利に進めることが出来ます。また、

SETOKUでの活動はエントリーシートや面接でも使えます。現在、浄化活動と教育活動ともに人数が足りないため、新メンバーが喉から手が出るほど欲しいです。私たちと一緒に活動してみませんか?



CTFコンテストではみんな真剣な表情に



新入生の勧誘も積極的に(新入生向け説明会の様子)



【教育活動】問いかけると手を挙げる子がたくさん!!



【教育活動】楽しいひととき?授業後は、子どもたちからの質問攻め!



【教育活動】お面を被ってショート劇!ネットとの付き合い方をレクチャー

SETOKUはインターネット上の安全を守り、サイバー犯罪の被害者を減らす活動をしています。普段は週1回、空きコマを活用してフィッシングサイト(偽サイト)を見つけて報告する浄化活動を行っています。

子どもたちにネットとのつきあい方を伝える活動

長期休暇中には高松市少年育成センターの方と連携して高松市の公立小学校の3、4年生を対象にインターネットとの上手な付き合い方を伝える教育活動を行っています。



小学校で行ったセキュリティ授業の様子はこちら

教える内容は「ネット課金」「炎上」「SNS上の出会い」です。最近では、スマホを持つ子どもの数が増えているので、小さいうちからインターネットのキケンを知り、楽しく正しく使ってもらうことを目的としています。授業ではトレンドマイクロが制作した教材を手直しして使用し、ショート劇を取り入れながら分かりやすく教えています。創造工学部など教員志望ではない学生が主に参加していますが、「楽しい」という声が多く、何度も参加しています。教育実習とは違って私服・染髪OKなので気軽に参加できます。また、対象が公立小学校のため、教育実習で本学生が赴任する附属小学校

以外の児童のリアルを目にすることが出来ます。今年も9月に4つの小学校で授業をしました!授業を受けた男の子が「僕も香川大学に入ってこの活動をしたい!」とってくれたのが印象に残っています。授業中の児童の反応が良く、とてもやりがいを感じられます。また、授業後に児童が集まってきた質問をしていく様子はとても可愛いです。



教育学部2年 玄馬 久那愛
岡山県立倉敷古城池高等学校 出身



創造工学部2年 濱渦 ゆりの
高松桜井高等学校 出身

